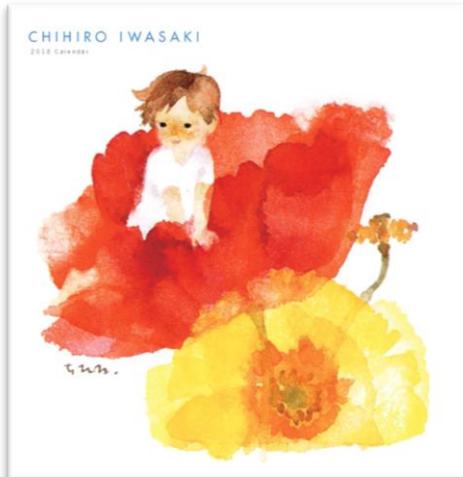


東日本大震災・福島第一原発事故、熊本地震、九州北部災害

被災地にいわさきちひろカレンダーを届けよう

# 2018年版ちひろカレンダー被災地贈呈キャンペーン



私たちは、東日本大震災・東京電力福島第一原発事故をきっかけに、これまでは「いわさきちひろカレンダー」を個人的に贈られていたものを、2012年より被災地贈呈キャンペーンとして位置づけ、毎年多くの方に募金の協力や、実際に届けに行く「被災地カレンダー贈呈ツアー」への参加協力を行ってまいりました。昨年は3470本を贈ることができました。ありがとうございます。『部屋が明るくなったね』『かわいい絵で、すごく癒やされます』と喜んで受け取っていただいています。未だに仮設住宅での生活をしなければならない被災地のみなさまに、愛と平和の思いで描かれたちひろカレンダー被災地贈呈キャンペーンに今年もぜひ、ご協力ください。

※「被災地カレンダー贈呈ツアー」は福島へ11月15日～17日を予定しています。いっしょに行って手渡したい！という方は下記へお問い合わせください。

## 被災地へカレンダーを届けます

熊本地震から、1年5ヶ月が経過した今、被害が大きかった益城町など建物の解体が進み更地が広がり、雑草が生い茂っています。現在も4万5千人を超える県民が仮設住宅やみなし仮設住宅で避難生活を送られています。熊本民医連が月1回の仮設住宅支援活動の中で取り組んだアンケートの結果で、54%が70代以上。60代以上では76%となり、多くの高齢者が仮住まいでの避難生活を続けられています。また、1人暮らしが25%いるとともに、夫婦世帯が27%と、単身及び夫婦世帯が約半数となっています。



昨年のちひろカレンダーの被災地支援では、全国から多くのカレンダーを送っていただき、被災地に届けることができました。手渡してきた方々、特に女性の方は本当に喜んで、早速表紙を1枚切り取って入り口の壁に貼られたり、「ちひろの絵は好きなんです。」と笑顔で受け取られました。高齢で一人暮らしの仮設は寂しいものだと思います。きっとちひろカレンダーが皆さんの気持ちと部屋を明るくしてくれたのだと思います。

熊本県原水協 笹原和典

「愛と平和のちひろカレンダー」を被災地に贈る運動（募金）にご協力ください。

個人一口1000円、団体は一口2万円（1箱25本、送料込み）でお願いします。

（何口でも構いません。ワンコイン募金も嬉しいです）

郵便振替口座（00110-9-1780原水爆禁止日本協議会）に「被災地カレンダー」と明記してお振込みください。（郵便振替の「控え」を領収書に換えさせていただきます）

■お問い合わせ：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働のつどい6階

TEL:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033